

・ 学生支援体制

履修指導の実施状況

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
法学部	新入生オリエンテーション	法学部	令和2年4月15日～4月30日までオンデマンドにより実施
法学部	編入生オリエンテーション	法学部	令和2年4月15日～4月30日までオンデマンドにより実施
法学部	オンライン接続テスト	法学部	令和2年4月27日13:40～ 学部2年生対象 令和2年4月28日10:55～ 学部3年生対象 令和2年4月30日10:55～ 学部4年生対象 令和2年5月1日10:55～ 学部1年生対象
法学部	修学指導	法学部	毎年度初めに学生の単位修得状況等を組織的にチェックし、前年度の成績不振者に対しては、修学指導の実施について通知を行うとともに、保護者へ学業成績表送付を同意している学生については、学業成績証明書を送付した。
法学研究科	新入生オリエンテーション	法学研究科	令和2年4月2日 14:30～実施 対象：博士課程前期課程研究者養成・高度社会人養成・グローバルマスタープログラム新入生
法学研究科	新入生オリエンテーション	法学研究科	令和2年4月2日17:30～実施 対象：博士課程前期課程高度社会人養成プログラム新入生(社会人)、博士課程後期課程新入生・進学者
法学研究科	GMAP新入生オリエンテーション 【10月入学者】	法学研究科博士課程 前期課程 (GMAP)	令和2年9月24日13:30～オンライン実施 対象：博士課程前期課程グローバルマスタープログラム新入生
法学研究科	新入生オリエンテーション	法学研究科	令和2年4月18日10:30～オンライン実施 対象：博士課程後期課程高度専門法曹養成プログラム新入生

学習相談の実施状況

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
法学部	オフィスアワーの設定	法学部	各教員において担当科目の授業内容についての質問等を受けるためのオフィスアワーを設定し、シラバス等にて学生に周知している。
法学研究科	オフィスアワーの設定	法学研究科	各教員において担当科目の授業内容についての質問等を受けるためのオフィスアワーを設定し、シラバス等にて学生に周知している。

社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
全学	キャリア関連科目の開設	キャリアセンター	<p>全学キャリア科目（総合教養科目）「職業と学び—キャリアデザインを考える」の開講。</p> <p>■履修者数</p> <p>文学部 平成30年度 8名、令和元年度 6名、令和2年度 13名</p> <p>国際文化学部 令和元年度 1名</p> <p>発達科学部 平成30年度 4名、令和元年度 6名</p> <p>国際人間科学部 平成30年度 32名、令和元年度 31名、令和2年度 32名</p> <p>法学部 平成30年度 27名、令和元年度 14名、令和2年度 18名</p> <p>経済学部 平成30年度 25名、令和元年度 28名、令和2年度 29名</p> <p>経営学部 平成30年度 32名、令和元年度 32名、令和2年度 45名</p> <p>理学部 平成30年度 15名、令和元年度 10名、令和2年度 9名</p> <p>医学部 平成30年度 4名、令和元年度 3名、令和2年度 9名</p> <p>工学部 平成30年度 26名、令和元年度 22名、令和2年度 27名</p> <p>農学部 平成30年度 4名、令和元年度 6名、令和2年度 16名</p> <p>海事科学部 平成30年度 8名、令和元年度 15名、令和2年度 8名</p>

全学	キャリア関連科目の開設	国際教養教育院	<p>総合教養科目のうちキャリア科目として、企業社会論A（19名）、企業社会論B（6名）、職業と学びーキャリアデザインを考えるA（113名）、職業と学びーキャリアデザインを考えるB（93名）、ボランティアと社会貢献活動A（17名）、ボランティアと社会貢献活動B（13名）、グローバルチャレンジ実習（ハノイ貿易大サマープログラム（オンライン））（1名）、グローバルチャレンジ実習（KUPESコース）（5名）を開講している。</p> <p>※（ ）内は令和2年度受講者数、（社会基礎学は、R2は遠隔授業の為、不開講）</p>
全学	インターンシップ	キャリアセンター	<p>■参加者数【令和2年度】</p> <p>文学部 3名 国際人間科学部 10名 法学部 8名 経済学部 12名 経営学部 1名 理学部 1名 医学部医学科 0名 医学部保健学科 1名 工学部 34名 農学部 18名 海事科学部 7名 人文学研究科 2名 国際文化学研究科 0名 人間発達環境学研究科 3名 法学研究科 67名 経済学研究科 3名 経営学研究科 5名 理学研究科 3名 医学研究科 0名 保健学研究科 3名 工学研究科 334名 システム情報学研究科 79名 農学研究科 6名 海事科学研究科 10名 国際協力研究科 3名 科学技術イノベーション研究科 5名</p> <p>* 内訳は「6-5-3-01_(00)令和2年度神戸大学インターンシップ実績」参照</p>

全学	ボランティア活動	キャリアセンター	<p>大学として「学生の災害ボランティア活動への教務関係対応方針」を定め、災害ボランティア活動期間の授業について「公欠」として取り扱うことができる自然災害を設定し、災害ボランティア活動を行う学生の修学上の配慮を行うこととしている。</p> <p>■参加者数（東日本大震災ボランティア活動・熊本地震ボランティア活動等）</p> <table> <tr> <td>国際人間科学部</td> <td>令和元年度</td> <td>26名</td> <td>令和2年度</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>国際文化学部</td> <td>令和2年度</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発達科学部</td> <td>令和2年度</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>令和元年度</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医学部保健学科</td> <td>令和元年度</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>令和2年度</td> <td>1名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農学部</td> <td>令和2年度</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	国際人間科学部	令和元年度	26名	令和2年度	3名	国際文化学部	令和2年度	1名			発達科学部	令和2年度	2名			経営学部	令和元年度	6名			医学部保健学科	令和元年度	2名			工学部	令和2年度	1名			農学部	令和2年度	2名		
国際人間科学部	令和元年度	26名	令和2年度	3名																																		
国際文化学部	令和2年度	1名																																				
発達科学部	令和2年度	2名																																				
経営学部	令和元年度	6名																																				
医学部保健学科	令和元年度	2名																																				
工学部	令和2年度	1名																																				
農学部	令和2年度	2名																																				
法学部	「特別講義 企業内法務入門」（1単位）を1～4年生向けに開講（有力なキャリアパスの一つとしての企業内法務の魅力を知る）	法学部	企業内法務の一线で活躍する担当講師から企業内法務の実際についてオムニバス形式で講義を行う。後期3Q金曜3限に開講。																																			
法学部	「特別講義弁護士によるプロボノ活動」（1単位）を1～4年生向けに開講（弁護士による様々な公益的な社会貢献活動を学ぶ）	法学部	実際に第一線で活躍する講師が職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動についてオムニバス形式で講義を行う。後期4Q金曜3限に開講。																																			
法学部	「特別講義法律実務体験演習」（2単位）を2年次生向けに開講	法学部	模擬法律相談を相談担当弁護士として、模擬刑事裁判を弁護士・裁判官・検察官として、それぞれの実務を体験する演習を後期火曜4限に開講。																																			
法学部	「国際ジャーナリズムⅡ（2単位）を3,4年次生向けに開講	法学部	読売新聞の特派員経験者の講師陣が最新の国際ニュースを題材に取り上げつつ、その歴史的な背景や現代における意味などについてリレー形式で講義を行う。後期木曜4限に開講。																																			
法学部	「特別講義新聞記事から思考する」（2単位）を1～4年次生向けに開講	法学部	朝日新聞で記者経験を持つ講師が新聞記事を題材に各回テーマの問題を開設し、受講者がグループ単位で討論のうえ発表を行うほか、小論文を作成する。前期火曜4限に開講。																																			
法学部	ジャーナリズムの最前線（2単位）を3,4年次生向けに開講	法学部	最前線の現場で取材する朝日新聞社の記者や編集委員、論説委員が、国内外で起きている様々な問題について、リレー方式で講義する。後期水曜4限に開講。																																			

法学部	特別講義社会科学の実践(2単位)を学部1, 2年次生向けに開講	法学部	神戸大学(法学部・経済学部・経営学部)卒業した幅広い業種業界人等を講師として招き、学生生活や卒業後の実社会における経験等を聞くとともに、各回グループワークを行い、卒業生・同級生とのコミュニケーションを通じて実現したい未来やキャリアを考えることを目的とする講義。後期金曜日4限に開講。
法学研究科	「Internship」(2単位)	法学研究科博士課程前期課程	学生は海外の弁護士事務所等において、8週間、弁護士の日常業務や企業や機関の内部作業を体験する機会が与えられます。 配置に応じて、生徒は通常次のタスクを実行します。 -弁護士との連携、-経営者との連携、-ケースファイルの分析、-法的調査の実施、-法的メモの起草、-アドバイスマネージャー、-スタッフ会議への出席、-クライアント会議に出席する、-裁判所の聴聞会への出席 例年、派遣先により8-9月、2-3月に実施していたが、2020年度は後期の海外の弁護士事務所等が指定した期間(1か月間)にオンラインにより実施した。
法学研究科	「Short Term Internship」(1単位)	法学研究科博士課程前期課程	学生は海外の弁護士事務所等において、2週間、弁護士の日常業務や企業や機関の内部作業を体験する機会が与えられます。 配置に応じて、生徒は通常次のタスクを実行します。 -弁護士との連携、-経営者との連携、-ケースファイルの分析、-法的調査の実施、-法的メモの起草、-アドバイスマネージャー、-スタッフ会議への出席、-クライアント会議に出席する、-裁判所の聴聞会への出席 例年、派遣先により8-9月、2-3月に実施していたが、2020年度は後期の海外の弁護士事務所等が指定した期間(2週間)にオンラインにより実施した。
法学研究科	ジャーナリズムの最前線(2単位)	法学研究科博士課程前期課程	最前線の現場で取材する朝日新聞社の記者や編集委員、論説委員が、国内外で起きている様々な問題について、リレー方式で講義する。後期水曜4限に開講。

履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況

対象	教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
傷害のある学生	法学部	法学部	・修学上配慮が必要な学生からの相談により、レポート作成指導チューターを雇用し、レポートの添削指導を行った。
傷害のある学生	法学研究科	法学研究科	・内部疾患等で休み時間内に教室を移動することが難しく遅刻した場合の出席に対する配慮 ・発作時の対応を教員へ事前に周知
留学生	法学部	法学部	・4月及び10月に新入生（交換留学生を含む）を対象としたオリエンテーションを実施した。
留学生	法学研究科	法学研究科博士課程 前期課程・後期課程	・4月及び10月に新入生（交換留学生を含む）を対象としたオリエンテーションを実施した。 ・修士論文又は博士論文を日本語で執筆する留学生に対して、日本語をサポートする論文チューターを配置した。